

1. 件名：ALPS 処理水の測定・評価対象核種の選定に関する面談
2. 日時：令和4年10月11日（火）14時00分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、澁谷企画調査官、正岡企画調査官、大辻管理  
官補佐、松田室長補佐、小西係長、塩唐松係員、鈴木技術参与、林技術参  
与、平山技術参与、吉田技術参与

近藤技術参与（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所 担当5名

#### 5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社から、ALPS 処理水の海洋放出関連設備の設置に係る実施計画の審査において今後測定・評価の対象とする放射性核種を選定するという方針を示した点に関し、前回面談（令和4年10月5日）で説明を求めた事項を踏まえた現在の検討状況について、以下のとおり説明があった。
  - 手順1での「評価上存在する」という基準
  - 手順2で Rn 以外の希ガス5核種を除外する理由
  - 手順3の除外基準を告示濃度限度の1/100とする理由について
  - 手順4以降の除外基準を告示濃度限度の1/100とする理由について
  - 手順4で設定した個々の核種の移行係数の根拠及びその基となる分析データや手法等の詳細について
  - 新設した手順5、6の詳細について
- 原子力規制庁は、上記説明内容を確認した上で、以下の点について今後説明するよう求めるとともに、今回の資料を検討した上で今後指摘事項を伝える旨伝えた。
  - 汚染水への移行評価の設定に使用する分析データの試料採取場所やその方法等について、図表等を用いて分かりやすく説明すること

#### 6. 資料

- ・ ALPS 処理水の海洋放出時の測定・評価対象核種に係る検討について